

移動円滑化のための情報提供のユニバーサルデザインガイドライン

- 複雑化している都内の公共交通網・道路網の中で、特に必要性が高い情報提供について望ましい整備を図るための「目安」を示しました。
- 自宅などを起点として、バスや電車などを乗り継ぎながら目的地に到着までの一連の行動に着目して、次の行動に円滑に移る上で情報が必要となるポイントとして6つの場面を設定しました。
- 6つの場面ごとに今後の望ましい整備の方向と現状の取組の一例を紹介しています。
- 情報伝達性能の向上には、利用者の方の参加による情報内容の選択、設置位置等の検証が不可欠であり、情報提供後も、利用者の方による評価・確認を行うことが重要です。
- 色彩表現を使った情報提供をするときの留意点についてこのガイドラインの裏表紙に注意点をまとめてありますので、必ずチェックするようにしてください。

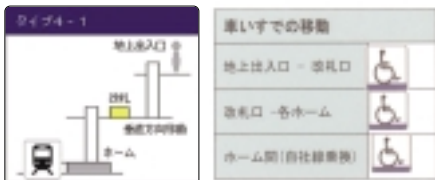
らくらくおでかけネット

(駅・ターミナル情報、乗り継ぎ情報、運行情報)
<http://www.ecomo-rakuraku.jp/rakuraku/index>



- 駅・ターミナル情報
- 乗り継ぎ情報
- 運行情報
- 福祉輸送サービス情報
- 携帯端末版
- ハンドル型電動車いす利用可能駅情報

<駅・ターミナル情報の一部分>



1 自宅や外出先で (事前情報)

- どのような環境の人でも利用しやすいホームページの作成 (JISX8341)
- わかりやすい設計 (目次、レイアウト等)
- ハード環境 (容量やスクリーン等) への配慮
- 音声対応や文字の色やコントラスト (明度や色合い) への配慮、ふりかな等
- 情報提供の充実、迅速な情報更新・緊急情報の提供
- 様々な情報入手手段の確保
- 総合窓口の設置・人的対応 (接遇) の充実

2 バスに乗って 駅まで

- 停留所での情報提供
 - ・時刻表へのノンステップバス表示
 - ・わかりやすい路線図の掲示
 - ・バス接近情報システムの普及 (文字情報提供、音声案内)
- 車両内での情報提供
 - ・わかりやすい路線図の掲示
 - ・行き先、停留所名の文字情報
 - ・行き先、停留所名や緊急時のアナウンス
 - ・ソフト対応充実のための乗務員教育
- 携帯電話による情報提供
 - ・情報提供サービスの普及
 - ・わかりやすいサイトの設計、操作性

3 駅の入口から ホームまで

- 標準化されたピクトグラム (絵文字) の周知、定着
- 単純な操作の機器の一部併設による利用者の選択権確保
- サインの連続性の確保
- 視覚障害者誘導用ブロックの連続性、分岐点やエスカレーター利用の音声案内との連動
- 乗車用 IC (集積回路) カードの統一
- ICタグ (集積回路を貼り付けた札) 等による位置情報、誘導
- 構内放送の内容や可変式情報表示装置の提供情報について、必要な情報の把握と順位付け

券売機案内



遠くからでも券売機等の機能がわかるような表示がされています。

【情報提供において配慮すべき事項】

視覚情報

- ・情報内容、表示方法、表示位置
- ・「色相」、「明度」、「彩度」色の3要素の使い分け（*裏表紙参照）
- ・実線、破線などの線の使い分け
- ・斜線、塗りつぶしなどによる面の表現方法の使い分け
- ・照明や発光ダイオードなどにおける今後の研究を踏まえた検証が必要

音声情報

- ・スピーカーの位置や音量について、視覚障害者との共同作業による細かな調整が必要
- ・音色等の配慮

触覚情報

- ・触覚情報には情報量の限界があることから、音声情報等との併用を考慮する必要がある。

6 目的地に着くまで

- 地域自治体、交通事業者等が連携した、わかりやすい案内表示による情報提供
- ・デジタル地図標識の設置
- ・ICタグ（集積回路を貼り付けた札）による誘導案内
- ・案内表示におけるピクトグラム（絵文字）の採用や統一、多言語表示
- 視覚障害者誘導用ブロックの整備、だれにでも使いやすい歩車道境界ブロックの開発や、視覚障害者用横断帯の検討
- 効果的な放置自転車対策等の継続実施

4 ホームで列車に乗って降りるまで

- ドアの開閉位置や開閉のタイミング、列車の通過等に対する音声、視覚情報の提供、フラッシュ等による注意喚起
- 人的対応によるホーム上での安全確保
- ICタグ（集積回路を貼り付けた札）による位置情報、誘導
- 緊急時の携帯端末等への文字情報提供
- 車内での視覚情報の提供方法、提供内容の規格化

5 乗換駅や駅の出口で

- ホームページ等で、事前に得られる情報の充実
- 携帯端末等を利用した情報提供手法の確立
- ホーム上及び改札口周辺における駅及び周辺地区のバリアフリー経路についての地図上への掲示
- 駅及び周辺地区におけるサインの統一
- 事業者による人的対応の充実
- 駅ボランティアの育成

使いやすい地図標識



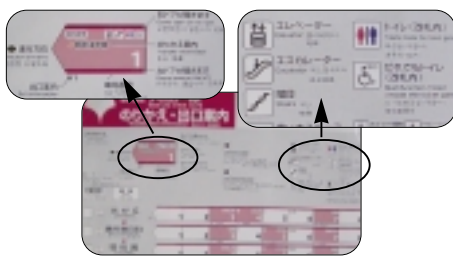
容易に主要施設を探すことのできる地図が設置されています。

歩車道境界ブロックの検討



車いす使用者や視覚障害者にとって使いやすい歩車道境界ブロックの基準化が、検討されています。

地下鉄の出口案内



降車駅での出口の位置に合わせて乗車できるように、「各駅の乗り換え・出口案内」を提供しています。

駅構内の人的対応による案内



人を常駐させたインフォメーションセンターをターミナル駅に設置し、情報を提供しています。

地下鉄のまち情報



ホーム上で目的地に近い出口まで案内をしてくれます。バリアフリー路線も案内します。

大型可変式情報表示装置



車内各ドア上部に15インチの液晶画面を2面設置し、右側で運行情報、左側でニュースや広告などの一般情報を表示します。通勤・通学者や初めて利用する乗客、外国人など、さまざまな利用者の立場に立った運行情報が提供されています。

交通結節点におけるバス乗り場の案内



（拡大図）

複数のバス会社が乗り入れている駅での、バス路線情報の提供。バス停名が「あいうえお」順に整理されている。

また、人の導線直角方向にサインを設置することにより、表示板が目立つよう、工夫されています。